

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	こまきプレミアム商品券発行助成事業				担当部	地域活性化営業部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	商工振興課				
	事業期間	平成23年度 ~				担当係	新産業創出係				
	総合計画 分野別計画	主目的	5	産業・交流	20	商工業	2	既存商工業の経営を支援します			
		副目的									
	予算区分	款	7	項	1	目	2	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	地域限定商品券発行事業費補助金交付要綱									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	厳しさを増す市民生活を支援するとともに、地域経済を活性化するため、商工会議所が発行する「こまきプレミアム商品券」の10%のプレミアム分と事務経費の補助を行う。									
	内容 (手段)	<p>【平成25年度実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所が平成19年度から、市内中小商業者の育成及び活性化によるモチベーションの向上を目的に実施していた地域限定商品券発行事業を、市民生活の支援及び地域経済の活性化を目的として発行額を大幅に増額し実施する商品券事業に対し、プレミアム分(1億円)と事務経費分を補助した。 109,742,344円</li> <li>また、実施にあたっては商工会議所内に設置された地域限定商品券発行事業推進プロジェクトに職員を派遣するなど、協力体制を築きながら実施した。</li> </ul> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年6月と11月に5億5千万円ずつ2回発行をした。(贈答用商品券除く)</li> <li>・参加店 614店(平成25年12月1日現在)</li> <li>・えーなも券(共通券)5,000円とイーなも券(専用券)6,000円を1セットとし、額面金額11,000円を10,000円で5万セットずつ2回に分けて販売した。</li> </ul> <p>平成25年度事業実施に当たり改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回目の販売において商品券の偽造防止方法をフォログラムからコピーガードに変更して印刷費の削減に努めた。</li> <li>・2回目の販売において購入制限を1人4万円までとし、より多くの市民に購入いただけるよう努めた。</li> <li>・1回目販売では更なる周知につとめるため店舗の地図やお得なクーポンがついた冊子「こまぶれ」を作成した。しかし、経費削減のため2回目販売ではくらしのニュースでの掲載とした。</li> <li>・経済波及効果のアンケートを実施した。</li> </ul> <p>【25年度直接経費の内訳】</p> <p>こまきプレミアム商品券発行事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度分補助金 106,000,000円</li> <li>・平成24年度分補助金(繰越明許費分) 3,742,344円</li> </ul> <p>【26年度直接経費の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度分補助金 122,000千円</li> <li>・平成25年度分補助金(繰越明許費分) 24,000千円</li> </ul>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	63,670	120,500	109,742	122,000	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.50	0.30	0.50
			人件費	千円	1,578	2,630	1,578	2,630
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	65,248	123,130	111,320	124,630		
	対前年比	%		188.7	90.4	111.9		
財源	一般財源	千円	60,780	123,130	111,320	124,630		
	国・県支出金	千円	4,468	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	加盟店舗数	店	目標	400	540	613
実績				533	588	614	
	商品券発行額	千円	目標	—	1,100,000	1,118,000	1,118,000
			実績	566,980	1,117,913	1,118,686	
	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			購入した市民の全市民における割合	%	目標	—	10
	販売促進活動に取り組んだ店の数		実績	6.6	9.4	9.9	
			目標	—	100	100	100
			実績	56	93	96	
			目標	—	100	100	100

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		
	事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度に実施した2回の商品券販売について早期に完売をした。</li> <li>約7割の商品券が中小小売店舗で利用されている。</li> <li>加盟店舗数が平成26年3月31日現在614店舗となった。</li> <li>平成25年度中に贈答用商品券を18,686千円分を発行した。</li> <li>購入した市民の全市民における割合は目標には達しなかったが9.9%だった。</li> <li>加盟店のうち販売促進に取り組んだ店の数が96店舗だった。</li> </ul>	
	事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人あたりの購入額が増えているため1回あたりの市民の購入割合が減少している。</li> <li>事務費に対する補助金について、他市の状況を調査し補助内容の改善や事務経費の削減に努める必要がある。</li> <li>引続き市民・購入者・加盟店などに対するアンケートを実施し、事業の効果的な運用を図る必要がある。</li> </ul>	
	事業を縮小・廃止したときの影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>加盟店舗数も増えてきていることから、市内中小小売店舗の顧客獲得手段として取り入れられてきている状況であり廃止をすると地域経済の衰退につながる。</li> </ul>	
平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売方法等の見直しを行い、より多くの市民の方に購入していただけるよう検討をする。</li> <li>事務費に対する補助金について、他市の状況を調査し補助内容の改善や事務経費の削減をする。</li> </ul>	
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	こまきプレミアム商品券事業も浸透してきており、加盟店舗数も600店舗を超え、中小小売店舗への事業効果があるため。	
	27年度以降の改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに多くの市民に利用いただけるよう購入方法の見直しやPR方法について検討をする。</li> <li>より効率的な事業運営を行い、適正な事務費補助に努める。</li> <li>引続き市民・購入者・加盟店などに対するアンケートを実施し、事業の効果的な運用を図る。</li> </ul>	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。